

[報告]

海洋研究開発機構地震津波・防災研究プロジェクトの有吉技術研究員が

平成 26 年度地震学会論文賞を受賞しました

受賞論文名 : Migration process of very low-frequency events based on a chain-reaction model and its application to the detection of preseismic slip for megathrust earthquakes

受賞者 : 有吉 慶介*1・堀 高峰*1・金田 義行*1・中田 令子*1・Jean-Paul Ampuero*2・
松澤 暢*3・日野 亮太*3・長谷川 昭*3

*1 独立行政法人海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクト (現: 地震津波海域観測研究開発センター)

*2 カリフォルニア工科大学

*3 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター

本研究では、研究対象を沈み込みプレート境界の深部で発生する超低周波地震に限定することによって実際の現象に即したスケールでのシミュレーションを可能とし、巨大地震発生サイクル中での発生様式の変化という観測可能な指標を提示することに成功しています。こうしたアプローチは地震学におけるシミュレーション研究の今後の方向性の一つを示したものとして高く評価され、平成 26 年度の「日本地震学会論文賞」を受賞いたしました。

また、シミュレーションに用いたプログラムコードは当センターとの共同研究によって開発され、スーパーコンピュータ SX-9 向けに最適化されたものとなっています。

参考 1) 日本地震学会 web ページ

http://www.zisin.jp/modules/pico/index.php?content_id=3093

(参考 2) 関連する研究成果(当センター広報誌 SENAC 掲載研究成果)

http://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/refer/pdf_data/v44-4/v44-4_p35-48.pdf